

お問い合わせ先
海上保安庁海洋情報部海洋調査課
課長補佐 森下 泰成
電話 03 - 5500 - 7125
海上保安庁技術・国際課
火山調査官 伊藤 弘志
電話 03 - 5500 - 7122



平成 25 年 6 月 27 日
海上保安庁

トカラ群島で発見した海底火山について

海上保安庁は鹿児島県の南方の海域で地形調査を実施し、トカラ群島宝島の北方約 25km の海底に、小型のカルデラと複数の火口を有する火山地形を新たに発見しました。

海上保安庁は平成 25 年 4 月から 5 月にかけて、鹿児島県南方のトカラ群島海域において、海上保安庁海洋情報部所属の測量船昭洋(総トン数 3,000 トン)による最新のマルチビーム音響測深機を用いた海底地形調査を実施し、複数の火口を有する未知の海底火山を発見しました。

今回発見された海底火山は、直径 1.6km の小型カルデラと最浅水深 282m の中央火口丘で構成され、カルデラの内外に 10 個ほどの火口を伴っています。

火口のうち、最も深いものの水深は 453m でした。

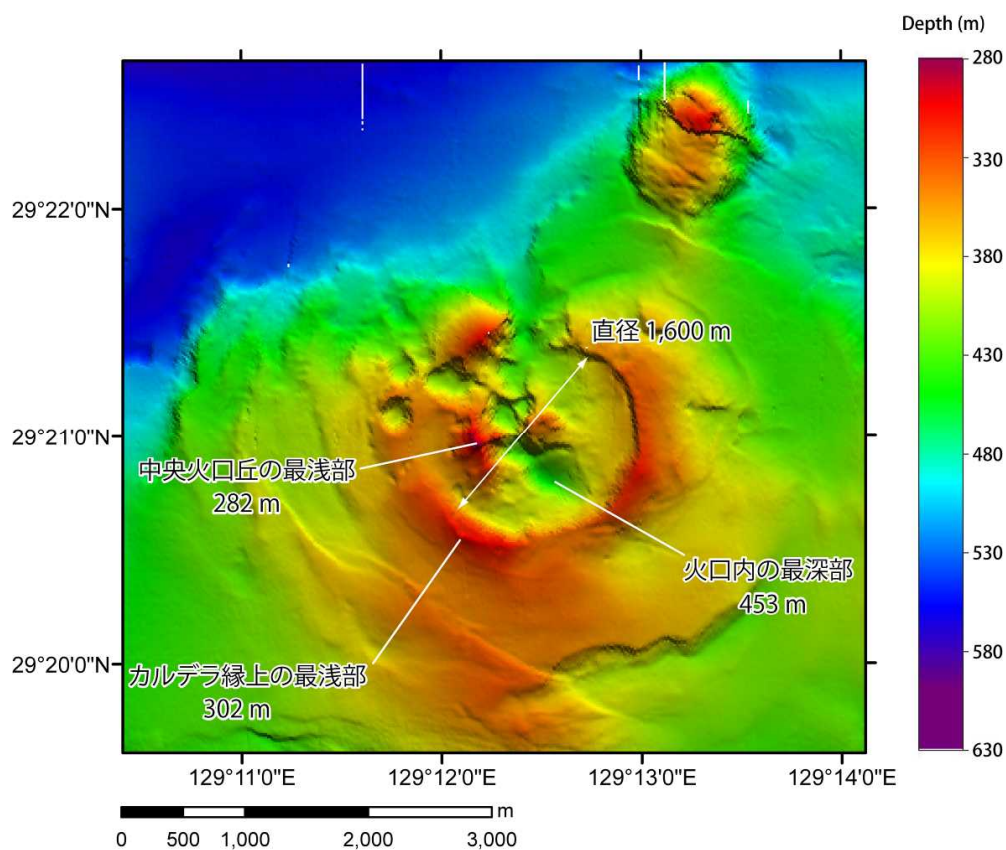
宝島の北方には、中ノ曽根、俵曽根、白浜曽根と呼ばれる水深約 50 ~ 150m の高まりが存在することは、海図などの資料から以前から知られていましたが、今回海底火山が発見された場所では高まりの存在は知られていませんでした。

今回発見した海底火山の海域では、これまでに変色水のような海底火山に特徴的な活動は確認されておらず、今回発見した海底火山そのものの火山活動の状況については、全く分かっていません。

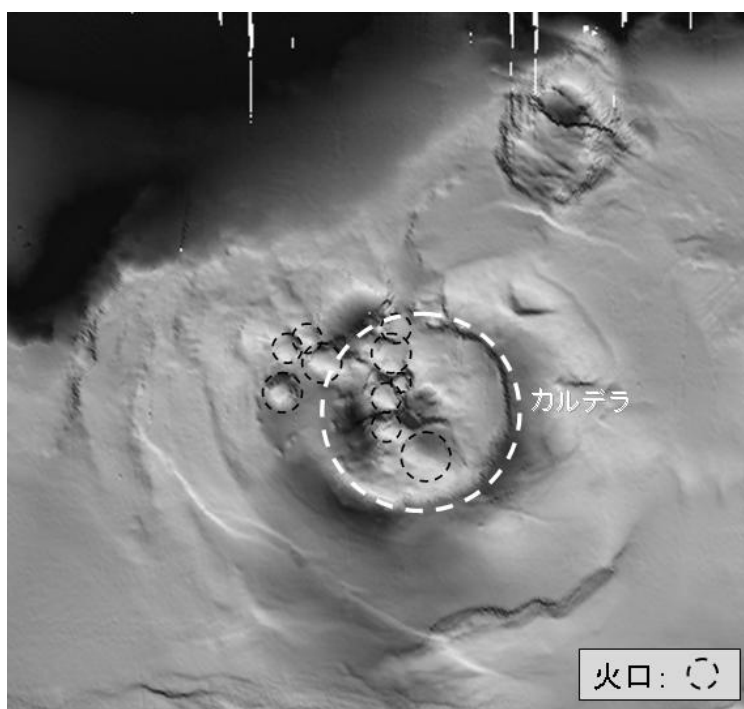
トカラ群島には中之島や諏訪之瀬島など、現在も活発な活動を続けている火山島があります。海域の基礎調査が進むにつれ、今後も海に眠るたくさんの海底火山が見つかっていくことでしょう。

注:カルデラ【かるでら】

輪郭が円形に近い火山性のくぼ地。火山からの噴出物によって空洞化した火山体内部に、その上部が崩壊し陥没したもの。普通の火山の火口は直径 1km を越えないといわれるので、それ以上の大きさのものを火口と区別してカルデラと呼ばれます。

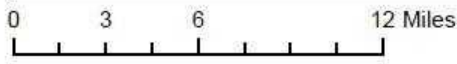
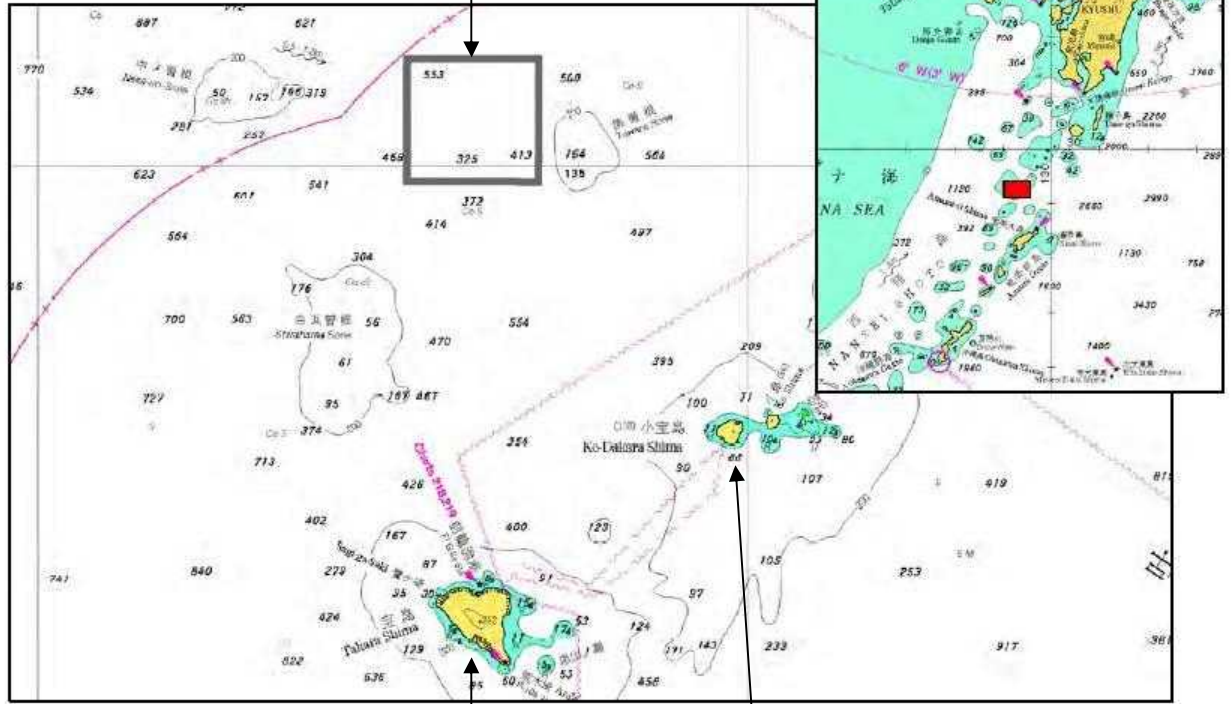


今回発見された海底火山地形



海底火山概略位置

概略位置图



宝島

小宝島